



開催日前に行ったコースの下見

15の町内会・自治会で構成されている小山連合町内会では、地域住民のつながりを広め、友人を増やしていくことを目的とした「地区交流事業」を行っている。地区内の町内会で力を合わせて事業を実施することによって、協力体制を構築できるメリットがある。

小山地区は、町田街道沿いの昔からある街と、多摩境通り沿いの新しい街で構成されている。江藤会長は「両者の交流の機会が少ないため、地区を一つにまとめることを目的に、地区交流事業を実施しています」と話す。この事業には例年700人ほどが参加しており、年々増加傾向にあるという。

昨年度は、地区内にある緑道や公園などをコースに、「第5回ふれあいウォーキング」を企画。準備期間は約半年で、開催2週間前にはコースの下見も

つながり つくる 小山地区の地区交流事業

告知

第6回ふれあいウォーキング

日時：10月19日(日) 10時～
内容：秋の尾根緑道ウォーキングと小山内裏公園での楽しいイベントを開催

行った。開催当日は残念ながら大雨で中止となってしまったが、行事の実行委員長だった多摩境町内会の安達廣美会長は「準備段階から町内会の枠を超えて協力し合えたため、「雨降って地固まる」の諺のように、きずながより強くなったと思います。イベントが実施できたことも大切ですが、準備段階から協力、連携し合うことで、よりお互いを知ることができているのではないのでしょうか」と笑顔をみせる。

今年度は10月19日に開催予定で、イベントを企画しているところだ。江藤会長は「地区交流事業で生まれたきずながが防災や生活の助け合いにつながります。今後も地区交流事業で、小山地区のつながりを深めていきたい」と話す。



片所谷戸のホシザクラを見に来てほしい！
菅原会長(中央)と小山のホタルと自然を守る会のみなさん

小山地区にある片所谷戸周辺には、ホタルやオオムラサキ、希少種のホシザクラが生息する自然がある。その自然を大切にしようとして、小山連合町内会の片所町内会会員が中心となって「小山のホタルと自然を守る会」を1998年に設立し、環境保全や保護活動を展開している。

小山のホタルと自然を守る会では、下草刈りや環境調査などの活動のほか、地域住民や各地からのホタル観賞者を受け入れたり、ホームページにホタル通信を掲載したりと、様々な方法で自然の大切さを伝えている。

会長の菅原信明さんは、「小山地区の豊かな自然を知ってもらい、一緒に守っていければ」と話す。

小山地区の自慢 ホタルと自然を守る！



お問合せ
どの町内会・自治会の区域に該当するか分からない方は、左記にお問い合わせください。
042-7221-4266
042-7221-4266
町田市市民部市民協働推進課
042-724-4336

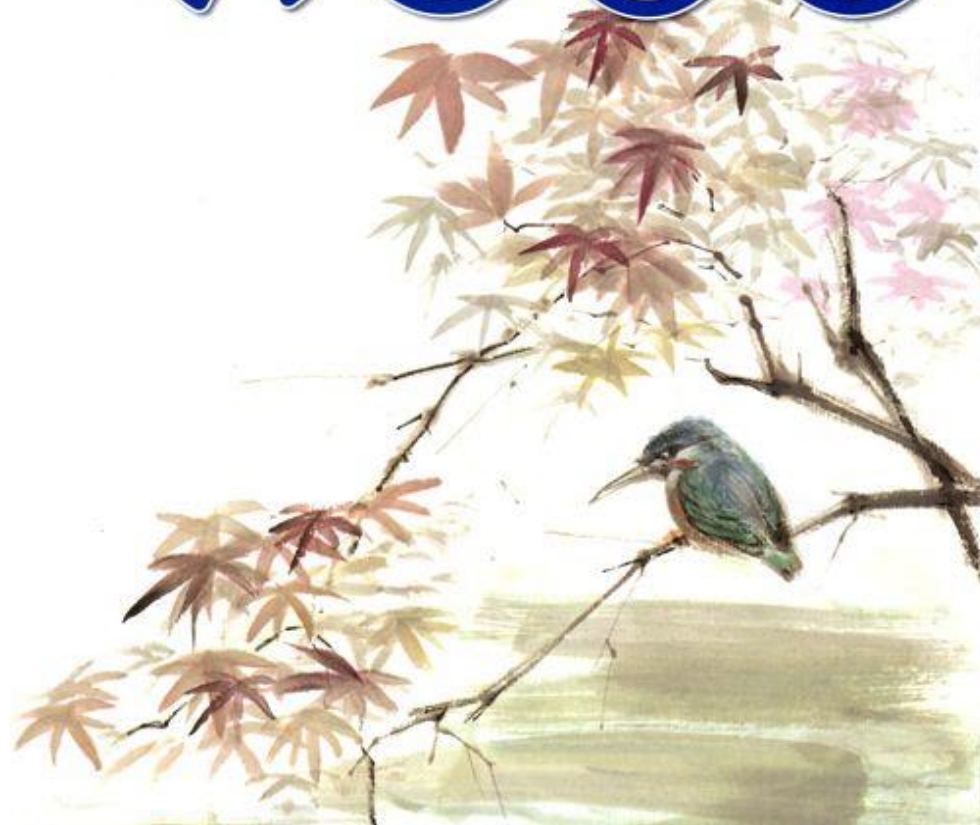
自ら地域を盛り上げ 自ら地域をつくる
今回は、小山地区の取り組みについて紹介した。共通することは、「力を合わせることで、より深いきずなや魅力を生み出している」ことだ。

地域の課題解決に向けてみんなで考え自ら取り組む地区協議会では、話し合う場を通して情報共有ができ、地区全体でまとまりが生まれつつある。また、地域住民が交流することを目的としている地区交流事業では、イベント実施のために多くの人が力を合わせ、町内会の枠を超えて結びついた。さらに、地区の大切な自然を守ろうと地域住民が中心となって始めた行動が、いまや地区の自慢となる活動となっている。

小さな力も結果すれば大きな力となる。地域のつながりを深めるためにも、みんなで力を合わせて地域を盛り上げよう！



あちびと
Machida Free Magazine Machibito



特集
地域のお祭りに参加しよう！
まちだの秋祭り

チャレンジ まちだシルクメロン物語
まちだ散歩道 秋の公園めぐり
アクティブ 音声と点字でつなげる情報の輪

無料

ご自由に取持ちください